

夙川のインターネット配信授業 1.0 方針

[理事長・学園長からの学校方針]

コロナウイルスによる感染症拡大の問題を受けて、これまで自治体やメディアにおいて「休校」というフレーズが多用されてきた。この言葉の蔓延によって、公立学校の教員の間には、「学校は休むべきである・休んでもよい」という認識が広まってしまったという側面は否定できない。

しかし夙川の考え方は全く違う。「学校は歩みを止めてはならない」これが我々の姿勢である。「止まるべきではない」というこの姿勢は、報道局とも相通ずるところではないだろうか。夙川は、現在のような生徒が集えない不測の状況下においても、校内に「インターネット放送局」を立ち上げ、様々なツールを活用して歩み続けていくことをここに宣言する。

[授業配信について]

1. 授業配信ツールとして、主にYouTube、Stream (Office365)、Zoom、Teams・Forms (Office365) に、校内グループウェアであるFC (First Class) を加えた5ツールを使用する。学年の状況に応じて、また使用場面に応じて、柔軟に使用ツールを組み合わせることによって、最適な配信と指導の精度を確保する。
2. 6つの学年(中学3学年—J1・J2・S1 / 高校3学年—K1・K2・K3) を各「インターネット放送局」(×6) とし、学年の状況に応じて最適な時程・分量・内容の配信を行う。
3. インターネット授業における生徒とのやり取りや独自の取り組みなど、配信の詳細については、各放送局(学年)が柔軟に設定・対応を行うものとする。各学年間、また教員間で配信の状況を共有し、情報交換を積極的に行うことを奨励し、それぞれの配信精度の向上につなげるよう促す。

以上